

平成27年度

# 企業局の概要

島根県企業局

# 目 次

## 【総括的事項】

1. 企業局の沿革	1
2. 企業局の組織	4
(1) 組 織 図	4
(2) 所 在 地	4
3. 職 員 配 置	5
4. 決 算 状 況	6
平成26年度決算総括表	6
5. 平成27年度当初予算の概要	7
(1) 電気事業会計	7
(2) 工業用水道事業会計	8
(3) 水道事業会計	9
(4) 宅地造成事業会計	10
付表 ダム費用負担割合表	11

## 【電気事業】

1. 事業の概要	13
2. 供給電力量の状況	14
3. 営業収支の状況	14
4. 発電所一覧表	15
(1) 水力発電所	15
(2) 風力発電所	18
(3) 太陽光発電所	18

## 【工業用水道事業】

1. 事業の概要	19
2. 給水計画	20
3. 営業収支の状況	21
4. 施設の概要	22
(1) 飯梨川工業用水道事業	22
(2) 江の川工業用水道事業	23
5. 概 要 図	24

**【水道事業】**

1. 事業の概要	25
2. 給水計画	26
3. 営業収支の状況	27
4. 施設の概要	28
(1) 島根県水道用水供給事業	28
(2) 江の川水道用水供給事業	30
5. 概要図	31

**【宅地造成事業】**

1. 事業の概要	33
2. 営業収支の状況	33
3. 江島工業団地造成事業	34
(1) 事業の概要	34
(2) 土地利用状況	34
(3) 団地内配置図	35
4. 江津地域拠点工業団地造成事業	36
(1) 事業の概要	36
(2) 土地利用計画	36
(3) 団地内配置図	37

企業局事業概要図	39～40
----------	-------

# 總括的事項

# 1. 企業局の沿革

- 昭和26.10 島根県土木部砂防電気課において三成発電所の建設に着手
- 29. 6 三成発電所竣工運転開始（出力2,830kW）
  - 30. 1 八戸川発電所建設着工
  - 33. 1 八戸川発電所竣工運転開始（出力5,400kW）
    - 4 三隅川発電所建設着工
  - 35. 4 砂防電気課を砂防課に改め、新たに地方公営企業法を適用し電気局発足。本局に総務課、工務課を置く。
  - 36. 3 浜田川発電所建設着工
    - 4 三隅川発電所竣工運転開始（出力7,400kW）
    - 9 矢原川発電所竣工運転開始（出力100kW）
  - 38. 4 浜田川発電所竣工運転開始（出力2,000kW）
    - 4 飯梨川総合開発事業（布部ダム）に着手（工業用水道、発電他）（受託）し、調査事務所を設置する。
  - 39. 4 飯梨川発電所建設着工し、飯梨川総合調査事務所を建設事務所に改める。
  - 40. 4 電気局を企業局に改める。
    - 4 飯梨川都市用水事業（水道創設分、工業用水道）建設着工
  - 42. 3 飯梨川第二発電所建設着工
  - 43. 4 飯梨川第一発電所竣工運転開始（出力3,000kW）
    - 4 八戸川総合開発予備調査に着手
    - 11 飯梨川第二発電所竣工運転開始（出力1,400kW）
  - 44. 4 宅地造成事業（道分山開発事業）工事着工し、出張所を設置する。
    - 6 飯梨川水道事業（創設分）松江市、東出雲町に対し給水開始
    - 6 飯梨川工業用水道事業一部給水開始
  - 45. 3 飯梨川都市用水道事業竣工（工業用水34,000m<sup>3</sup>/日、水道用水16,000m<sup>3</sup>/日）
    - 4 八戸川総合開発事業実施調査に着手し、調査事務所を設置する。
    - 4 道分山開発出張所を事務所に改める。
  - 46. 3 道分山開発事業第一期工事竣工
    - 4 八戸川総合開発事業（八戸ダム）建設に着手（都市用水230,000m<sup>3</sup>/日、発電）し、調査事務所を建設事務所に改める。
    - 4 新八戸川発電所建設着工
  - 47. 9 道分山開発事業第二期工事竣工
  - 48. 4 山佐川総合開発事業に着手（受託）（水道用水36,000m<sup>3</sup>/日）し、建設事務所を置く。
    - 4 美田川総合開発事業に着手（受託）し、建設事務所を置く。
    - 6~9 異常渇水により飯梨川都市用水水源枯渇
    - 7 飯梨川水道事業（創設分）、安来市へ給水開始
    - 10 境港（江島地区）臨海工業用地造成事業着工
  - 49. 4 企業局の組織を改め本局に総務課、経営課、開発課を置く。
  - 50. 4 企業局の組織を改め本局に総務課、経営課、開発第一課、開発第二課を置く。
  - 51. 3 八戸川総合開発事業竣工
    - 4 八戸川第二発電所（新八戸川発電所を改称）竣工運転開始（出力2,500kW）
    - 4 八戸川第一発電所（八戸川発電所を改称）出力増、運転開始（出力5,400kW→6,000kW）
  - 52. 3 道分山開発事業第三期工事竣工
    - 4 企業局の組織を改め開発第二課を廃止、開発第一課を開発課と改称

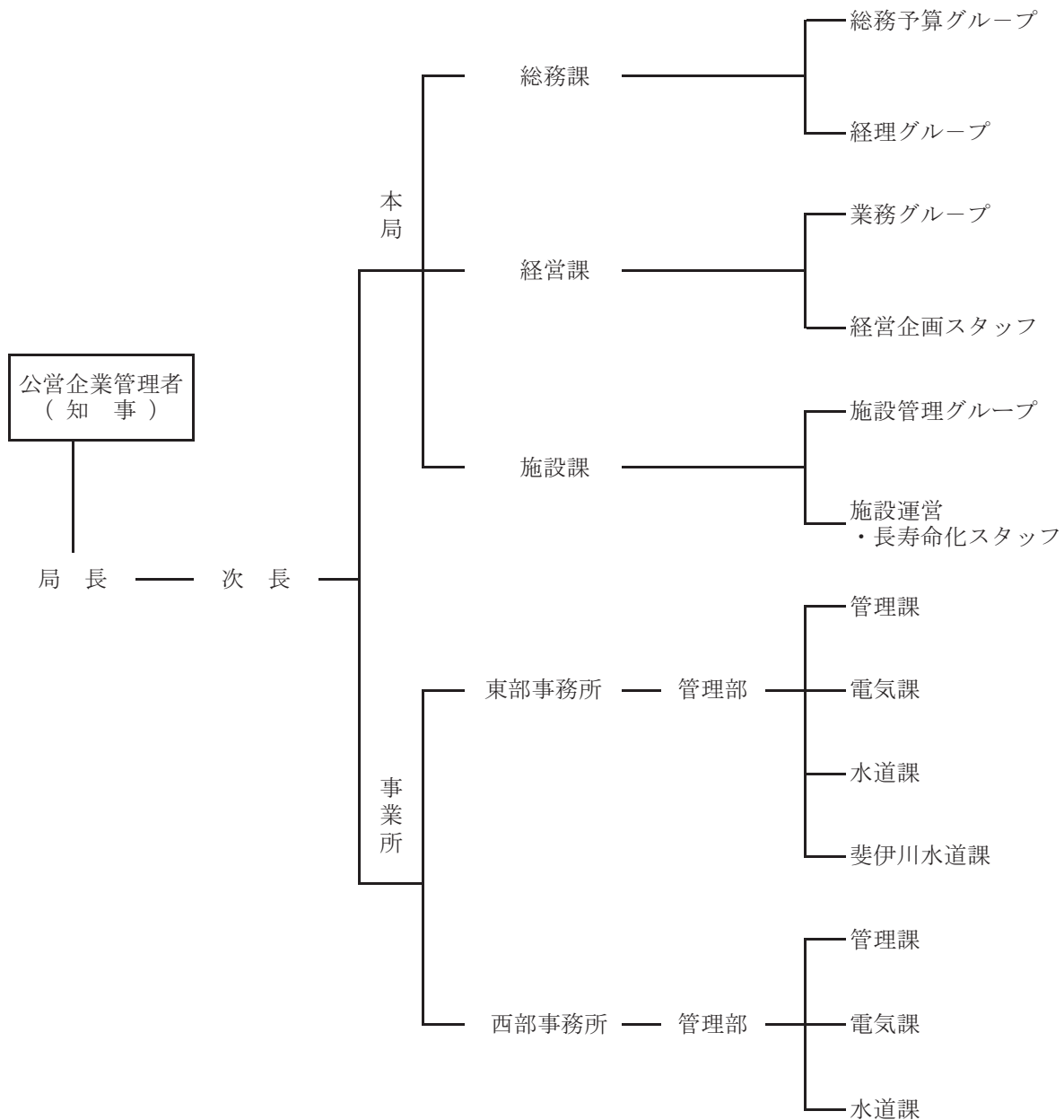
- 昭和53. 6 美田川総合開発事業竣工
- 55. 4 江の川都市用水道（工業用水50,000m<sup>3</sup>/日、水道用水27,000m<sup>3</sup>/日）事業に着手し、江の川水道建設事務所を置く。
    - 4 江津地域拠点工業団地造成事業に着手
    - 4 山佐川総合開発事業（山佐ダム）竣工
    - 5 飯梨川水道（拡張分）松江市、東出雲町へ給水開始
  - 56. 4 江の川水道建設事務所を石見地域開発事務所に改める。
    - 4 八戸川第一発電所2号機増設工事に着手
    - 4 三隅川総合開発事業（御部ダム）に参加（御部発電所 460kW）
  - 57. 4 八戸川第一発電所2号機竣工運転開始（出力1,500kW）
    - 4 八戸川第一発電所認可出力変更（6,000kW→6,300kW）
    - 6 飯梨川水道（拡張分）八束町へ給水開始
  - 58. 4 江島工業団地分譲開始
    - 7 58年7月豪雨災害（八戸川発電所・三隅川発電所（矢原川））罹災
  - 59. 4 笠柄地区宅地造成工事着手
    - 4 江津地域拠点工業団地分譲開始
    - 7 飯梨川水道（拡張分）安来市へ給水開始
  - 60. 4 江の川水道事務所を開設
    - 4 江の川水道給水開始（江津市、大田市、温泉津町、仁摩町）
  - 61. 2 御部発電所建設着工
    - 4 企業局の組織を改め本局に総務課、工務課を置く。
  - 62. 4 志津見ダム建設事業に参加（神戸川工業用水 30,000m<sup>3</sup>/日）
  - 63. 3 笠柄地区宅地造成工事概成
    - 4 企業局の組織を改め、工務課を業務課と改称
    - 4 笠柄地区宅地概成地を住宅供給公社に引継
    - 7 63年7月豪雨災害（八戸川発電所・浜田川発電所）罹災
- 平成元. 3 飯梨川第三発電所建設着工
- 2. 4 御部発電所竣工運転開始（出力460kW）
  - 3. 4 飯梨川第三発電所竣工運転開始（出力250kW）
  - 5. 2 尾原ダム建設事業に参加（斐伊川水道 35,400m<sup>3</sup>/日）
    - 3 浜田川総合開発事業（第二浜田ダム）に参加（新浜田川発電所 560kW）
    - 4 企業局の組織を改め、本局業務課建設係を建設第一係、建設第二係に改組
  - 6. 4 斐伊川水道建設事務所を開設
    - 7 旭拠点工業団地造成事業に着手
    - 7～9 異常渇水により飯梨川都市用水給水制限（10～20%）
  - 7. 3 J Aおおち及びJ A那賀みどりから勝地川発電所を譲受
    - 4 企業局の組織を改め、本局に総務課、経営課、開発課を置く。
    - 4 勝地川発電所（140kW）運転開始
  - 8. 4 企業局の組織を改め、5発電所・2水道事務所を2管理事務所（東部事務所・西部事務所）に集中化
    - 4 発電集中制御運用開始
    - 8 江の川工業用水道給水開始
  - 9. 3 旭拠点工業団地第1工区造成工事竣工
    - 4 旭拠点工業団地第1工区分譲開始
    - 7 病原性原虫対策のため、飯梨川水道全量を暫定的に拡張分設備で送水開始
  - 10. 1 八雲村特例給水開始
    - 3 勝地川発電所廃止及び勝地発電所建設着工
    - 3 旭拠点工業団地第2工区造成工事竣工
    - 4 旭拠点工業団地第2工区分譲開始

- 平成11.10 八戸川第三発電所建設着工
- 12. 4 飯梨川水道（第2期拡張分）供用開始
  - 8 企業局40周年記念事業実施
  - 10 勝地発電所運転開始（出力770kW）
  - 10 八戸川第三発電所運転開始（出力240kW）
  - 13. 4 玉湯町特例給水開始
  - 5 志津見ダム基本計画が変更され、工業用水を減量（神戸川工業用水 30,000 m<sup>3</sup>/日→10,000m<sup>3</sup>/日）し、電気事業が参加（志津見発電所 1,700kW）
  - 14. 9 隠岐大峯山風力発電所建設着工
  - 16. 2 隠岐大峯山風力発電所運転開始
  - 4 企業局の組織を改め、斐伊川水道建設事務所を廃止し、開発課へ統合
  - 17. 3 旭拠点工業団地へ矯正施設の誘致が決定
  - 6 異常渇水により飯梨川都市用水給水制限（10%）
  - 9 宍道湖湖底管敷設工事着工
  - 18. 3 島根県企業局経営計画（平成18年度～22年度）の策定
  - 10 旭拠点工業団地用地を法務省へ売却
  - 19. 2 江津高野山風力発電所建設着工
  - 4 企業局の組織を改め、開発課を施設課と改称
  - 8 志津見発電所建設着工
  - 21. 2 江津高野山風力発電所運転開始
  - 22. 3 八戸川工業用水道事業を一般会計へ移管
  - 23. 3 島根県企業局経営計画（平成23年度～27年度）の策定
  - 4 志津見発電所竣工運転開始（出力1,700kW）
  - 4 斐伊川水道給水開始（松江市、出雲市、雲南市、東出雲町）
  - 24. 3 神戸川工業用水道事業を一般会計へ移管
  - 25. 7 江津浄水場太陽光発電所建設着工
  - 26. 3 江津浄水場太陽光発電所運転開始（出力430kW）
  - 27. 3 浜田川発電所廃止

## 2. 企業局の組織

### (1) 組織図

(H27.4現在)



### (2) 所在地

本局	〒690-8501 松江市殿町8番地（県庁南庁舎2階）	TEL 0852-22-5673(代) FAX 0852-22-5679
東部事務所	〒692-0002 安来市上坂田町545-1	TEL 0854-22-2748(代) FAX 0854-22-5460
斐伊川水道課	〒699-1122 雲南市加茂町三代96-2	TEL 0854-49-9191(代) FAX 0854-49-9190
西部事務所	〒699-2837 江津市松川町上河戸703	TEL 0855-57-0221(代) FAX 0855-57-0049



### 3. 職 員 配 置

(H27. 4. 1現在)

職 種 所 属	事務 職員	技 術 職 員				技 術 員		合計
		土木	電気	化学	小計	管理技師	小計	
本 局	局長・次長	1	1		1			2
	総務課	9		1	1			10
	経営課	6		2	2			8
	施設課		2	7	9			9
	計	16	3	10	13			29
東 部 事 務 所	3	2	24	2	28	1	1	32
西 部 事 務 所	4	2	11	1	14			18
合 計	23	7	45	3	55	1	1	79

## 4. 決算状況

平成26年度決算総括表

(単位：千円)

科目	電気事業会計	工業用水道事業会計	水道事業会計	宅地造成事業会計	合計
(収益の部)					
営業収益	2,100,775	155,886	1,666,716	429,347	4,352,724
財務収益	4,879	0	0	0	4,879
営業外収益(※1)	240,275	83,126	395,629	3,169	722,198
特別利益	385,229	1,537,834	0	0	1,923,063
計	2,731,158	1,776,846	2,062,345	432,516	7,002,864
(費用の部)					
営業費用	1,665,925	216,312	1,806,382	430,632	4,119,250
財務費用	47,921	0	0	0	47,921
営業外費用(※2)	34,631	11,676	198,819	73	245,200
特別損失	162,572	2,347,891	12,206	3,321	2,525,990
計	1,911,049	2,575,879	2,017,407	434,026	6,938,361
当年度純利益	820,109	—	44,938	—	865,047
当年度純損失	—	799,033	—	1,510	800,544
(資産の部)					
固定資産	10,035,294	1,805,490	41,278,144	4,957	53,123,885
宅地造成	—	—	—	1,545,232	1,545,232
流動資産	2,794,716	260,803	1,296,579	202,192	4,554,290
資産合計	12,830,010	2,066,293	42,574,723	1,752,381	59,223,407
(負債の部)					
固定負債	3,336,749	2,428,027	11,056,925	1,374,283	18,195,984
流動負債	601,071	81,213	795,150	25,364	1,502,798
繰延収益	2,058,628	570,865	12,823,920	—	15,453,413
負債合計	5,996,448	3,080,105	24,675,995	1,399,647	35,152,195
(資本の部)					
繰入資本金	4,671	60,901	12,170,994	0	12,236,566
組入資本金	5,390,122	337,223	5,193,597	303,683	11,224,625
計	5,394,793	398,124	17,364,591	303,683	23,461,191
資本剰余金	1,283	37,641	393,648	30,356	462,928
利益剰余金	1,437,486	△ 1,449,577	140,489	18,695	147,093
計	1,438,769	△ 1,411,936	534,137	49,051	610,021
資本合計	6,833,562	△ 1,013,812	17,898,728	352,734	24,071,212
負債・資本合計	12,830,010	2,066,293	42,574,723	1,752,381	59,223,407

(※1)電気事業会計は事業外収益

(※2)電気事業会計は事業外費用

## 5. 平成27年度当初予算の概要

### (1) 電気事業会計

(単位：千円)

区 分		平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	増 減	平成27年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	<b>電気事業収益</b>	<b>2,410,129</b>	<b>2,814,574</b>	<b>△ 404,445</b>	
	営業収益	2,117,647	2,261,257	△ 143,610	電気料金(風力・水力・太陽光)ほか
	財務収益	4,368	4,182	186	受取利息
	事業外収益	288,114	549,135	△ 261,021	雑収益
	<b>電気事業費用</b>	<b>1,958,049</b>	<b>2,101,313</b>	<b>△ 143,264</b>	
	営業費用	1,830,083	1,810,800	19,283	発電所管理費ほか
	財務費用	42,835	49,637	△ 6,802	支払利息
	事業外費用	4,860	112,470	△ 107,610	消費税
	特別損失	78,271	126,406	△ 48,135	退職給付引当金ほか
	予備費	2,000	2,000	0	
<b>当期損益 (消費税除く)</b>	<b>170,170</b>	<b>658,051</b>	<b>△ 487,881</b>		
資 本 的 収 入 ・ 支 出	<b>資本的収入</b>	<b>3,199,119</b>	<b>745,670</b>	<b>2,453,449</b>	
	企業債	3,134,000	641,000	2,493,000	水力発電設備建設改良事業債
	投資回収金	65,119	97,370	△ 32,251	長期貸付金返還金
	負担金返還金	0	7,300	△ 7,300	
	<b>資本的支出</b>	<b>4,144,943</b>	<b>1,281,270</b>	<b>2,863,673</b>	
	建設改良費	3,568,568	754,065	2,814,503	発電所改良費
	投資	0	24,000	△ 24,000	
	企業債償還金	356,375	356,005	370	
	補助金返還金	0	2,200	△ 2,200	
	繰出金	215,000	140,000	75,000	一般会計繰出金
予備費	5,000	5,000	0		
<b>収支差(補填)</b>	<b>△ 945,824</b>	<b>△ 535,600</b>	<b>△ 410,224</b>		

## (2) 工業用水道事業会計

(単位：千円)

区 分		平成 27 年度 当 初 予 算	平成 26 年度 当 初 予 算	増 減	平成27年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	工業用水道事業収益	271,105	1,443,855	△ 1,172,750	
	営業収益	195,169	168,936	26,233	給水収益ほか
	営業外収益	75,936	86,249	△ 10,313	受取利息、県費補助金ほか
	特別利益	0	1,188,670	△ 1,188,670	
	工業用水道事業費用	269,325	1,977,604	△ 1,708,279	
	営業費用	259,230	254,099	5,131	管理経費ほか
	営業外費用	10,095	11,521	△ 1,426	支払利息
	特別損失	0	1,711,984	△ 1,711,984	
	当期損益 (消費税除く)	△ 16,185	△ 542,787	526,602	
	資 本 的 収 入 ・ 支 出	資本的収入	230,985	124,094	106,891
企業債		224,200	112,300	111,900	
長期借入金		6,785	11,794	△ 5,009	一般会計借入金
資本的支出		303,141	185,950	117,191	
建設改良費		242,601	122,230	120,371	江の川工業用水道営業設備 費ほか
企業債償還金		60,540	63,720	△ 3,180	
長期借入金償還金		0	0	0	
収支差(補填)	△ 72,156	△ 61,856	△ 10,300		

## (3) 水道事業会計

(単位：千円)

区 分		平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	増 減	平成27年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	水道事業収益	2,563,086	2,197,137	365,949	
	営業収益	1,806,318	1,832,263	△ 25,945	給水収益ほか
	営業外収益	386,453	364,874	21,579	長期前受金戻入ほか
	特別収益	370,315	0	370,315	長期前受金戻入益
	水道事業費用	3,523,218	2,240,835	1,282,383	
	営業費用	1,932,141	1,934,228	△ 2,087	管理経費ほか
	営業外費用	288,115	294,401	△ 6,286	支払利息ほか
	特別損失	1,302,962	12,206	1,290,756	固定資産売却損
	当期損益 (消費税除く)	△ 960,132	△ 49,698	△ 910,434	
	資 本 的 収 入 ・ 支 出	資本的収入	138,100	116,392	21,708
企業債		132,000	58,600	73,400	
出資金		6,100	12,000	△ 5,900	県費出資金
負担金返還金		0	45,792	△ 45,792	
資本的支出		868,830	916,522	△ 47,692	
建設改良費		175,312	118,393	56,919	
企業債償還金		571,919	619,799	△ 47,880	
長期借入金償還金		121,599	153,748	△ 32,149	県費借入金償還金ほか
補助金返還金		0	23,000	△ 23,000	
他会計出資返還金		0	1,582	△ 1,582	
収支差(補填)	△ 730,730	△ 800,130	69,400		

## (4) 宅地造成事業会計

(単位：千円)

区 分		平成27年度 当初予算	平成26年度 当初予算	増 減	平成27年度当初予算の内訳
収 益 的 収 入 ・ 支 出	土地造成事業収益	63,175	31,598	31,577	
	営業収益	60,986	29,779	31,207	宅地売却収益
	営業外収益	2,189	1,819	370	受取利息ほか
	土地造成事業費用	75,099	53,915	21,184	
	営業費用	72,822	41,308	31,514	宅地売却原価
営業外費用	2,277	641	1,636	雑支出	
特別損失	0	11,966	△ 11,966		
	当期損益	△ 11,924	△ 22,317	10,393	
資 本 的 収 入 ・ 支 出	資本的収入	0	24,000	△ 24,000	
	長期借入金	0	24,000	△ 24,000	
	資本的支出	26,328	91,260	△ 64,932	
	土地造成費	13,142	91,260	△ 78,118	江津地域工業団地造成事業費ほか
	長期借入金償還金	13,186	0	13,186	
	収支差(補填)	△ 26,328	△ 67,260	40,932	

付表

ダム費用負担割合表

(単位：%)

負担者 ダム名	島根県企業局			島根県	国 (含その他)	
	計	電気	工業用水道			水道
三成ダム	21.50	21.50	—	—	78.50	—
八戸ダム	6.55	1.50	3.45	1.60	93.45	—
木都賀ダム	79.90	79.90	—	—	20.10	—
布部ダム	18.30	1.60	11.91	4.79	81.70	—
山佐ダム	28.10	—	—	28.10	71.90	—
御部ダム	0.30	0.30	—	—	99.70	—
志津見ダム	0.40	0.40	—	—	2.70	96.90
尾原ダム	5.00	—	—	5.00	—	95.00





# 電 氣 事 業

# 【電 気 事 業】

## 1. 事業の概要

島根県の電気事業は、戦後復興期の電力増強の要請に応じるため、昭和26年、土木部砂防電気課において砂防事業と共同で三成発電所を建設したことを始まりとしている。

以後、河川総合開発事業に参画した新規エネルギー開発や既設ダム及び既設発電所の未利用エネルギー活用に積極的に取り組んできた。その後、風力及び太陽光発電にも着手し、いわゆる再生可能エネルギーの取り組みを広げてきている。

水力発電については、浜田川総合開発事業に係る浜田ダム再開発に伴い、浜田川発電所を平成27年3月31日をもって廃止したことから、現在、12水力発電所、最大出力26,950 kWで営業運転を行っている。

また、老朽化した既設水力発電所のリニューアル計画を策定し、平成26年度から更新工事に着手している。

風力発電については、平成16年2月から隠岐大峯山風力発電所を、平成21年2月から地方公共団体としては国内最大規模となる9基合計出力20,700 kWの江津高野山風力発電所の営業運転を行っている。

太陽光発電については、平成26年3月に、最大出力430 kWの江津浄水場太陽光発電所の営業運転を開始し、平成27年度は、石見空港、三隅港臨海工業団地及び江津地域拠点工業団地で、太陽光発電所の建設に着手する予定である。

なお、平成24年7月に「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」が施行（再生エネルギーの固定価格買い取り制度創設）されたことから、運転開始から20年未満の3水力発電所と2風力発電所について新制度単価に移行し、増収を図っている。

## 2. 供給電力量の状況

(単位：MWh)

区分 発電所名	平成22年度			平成23年度			平成24年度			平成25年度			平成26年度		
	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)	供給電力量	目標電力量	比率(%)
三 成	15,682	15,289	102.6	19,158	15,251	125.6	15,182	15,251	99.5	16,493	15,301	107.8	16,800	15,301	109.8
飯梨川第一	14,422	14,383	100.3	17,536	14,309	122.6	10,641	14,309	74.4	14,504	14,363	101.0	16,089	14,363	112.0
飯梨川第二	7,095	6,800	104.3	8,591	6,773	126.8	5,313	6,773	78.4	7,115	6,807	104.5	8,045	6,807	118.2
飯梨川第三	1,571	1,508	104.2	1,674	1,505	111.2	1,541	1,505	102.4	1,634	1,510	108.2	1,613	1,510	106.8
志 津 見	—	—	—	10,023	7,972	125.7	10,188	7,972	127.8	12,870	7,972	161.4	12,975	7,972	162.8
八 戸 川 第一・第二・第三	39,680	44,270	89.6	46,972	44,270	106.1	37,395	44,270	84.5	48,666	42,541	114.4	23,693	42,541	55.7
勝 地	2,942	3,449	85.3	3,752	3,449	108.8	2,323	3,449	67.4	2,225	3,245	68.6	3,331	3,245	102.7
浜 田 川	7,325	8,326	88.0	8,494	8,271	102.7	5,212	8,271	63.0	8,626	8,257	104.5	7,446	8,257	90.2
三 隅 川	32,465	34,996	92.8	36,473	34,834	104.7	25,463	34,834	73.1	39,692	34,848	113.9	37,747	34,848	108.3
御 部	1,615	2,304	70.1	2,390	2,252	106.1	1,247	2,252	55.4	2,508	2,235	112.2	2,252	2,235	100.8
矢 原 川	332	575	57.7	441	568	77.6	368	568	64.8	553	564	98.0	547	564	97.0
水力発電合計	123,129	131,900	93.4	155,504	139,454	111.5	114,873	139,454	82.4	154,886	137,643	112.5	130,538	137,643	94.8
隠岐大峯山風力	3,352	5,196	64.5	3,934	4,181	94.1	2,941	4,181	70.3	2,037	4,181	48.7	3,222	4,181	77.1
江津高野山風力	29,547	38,080	77.6	31,967	34,772	91.9	29,531	34,772	84.9	29,532	34,772	84.9	26,979	34,772	77.6
風力発電合計	32,899	43,276	76.0	35,901	38,953	92.2	32,472	38,953	83.4	31,569	38,953	81.0	30,201	38,953	77.5
江津浄水場太陽光	—	—	—	—	—	—	—	—	—	27	36	73.9	504	437	115.3

1. 志津見発電所は平成23年4月から運転開始
2. 八戸川第一、第二、第三発電所は一括計量
3. 江津浄水場太陽光発電所は平成26年3月から運転開始

## 3. 営業収支の状況

(単位：千円)

科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
営 業 収 益	1,717,147	2,133,341	2,100,775
(うち料金収入)	1,712,285	(2,128,338)	(2,096,010)
財 務 収 益	3,687	4,560	4,879
事 業 外 収 益	100,479	95,463	240,275
特 別 利 益	5,212	2,192	385,229
計	1,826,525	2,235,556	2,731,158
営 業 費 用	1,540,094	1,698,068	1,665,925
財 務 費 用	68,168	53,851	47,921
事 業 外 費 用	2,603	37,110	34,631
特 別 損 失	0	5,614	162,572
計	1,610,865	1,794,643	1,911,049
当 年 度 純 利 益	215,660	440,913	820,109
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	—	—	196,267
当年度未処分利益剰余金	215,660	440,913	1,016,376

## 4. 発電所一覧表

### (1) 水力発電所

発電所名 事項		三成発電所	飯梨川第一発電所	飯梨川第二発電所	飯梨川第三発電所	志津見発電所	
発電所位置		仁多郡奥出雲町 三成1394の3	安来市広瀬町 布部458	安来市広瀬町 菅原695の7	安来市広瀬町 布部2009	飯石郡飯南町 角井1895の3	
要	使用河川名	斐伊川水系斐伊川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系飯梨川	斐伊川水系神戸川	
	認可最大出力	2,830(kW)	3,000(kW)	1,400(kW)	250(kW)	1,700(kW)	
	常時尖頭出力	2,670(kW)	2,500(kW)	1,400(kW)	—	—	
	常時出力	950(kW)	800(kW)	380(kW)	50(kW)	380(kW)	
	発電型式	ダム水路式	ダム水路式	水路式	ダム式	ダム式	
	最大有効落差	58.76(m)	98.75(m)	46.43(m)	42.40(m)	42.40(m)	
	最大使用水量	6.00(m <sup>3</sup> /s)	3.70(m <sup>3</sup> /s)	3.70(m <sup>3</sup> /s)	0.80(m <sup>3</sup> /s)	5.00(m <sup>3</sup> /s)	
目	年間目標供給電力量計	15,061,000(kWh)	13,543,000(kWh)	6,510,000(kWh)	1,518,000(kWh)	7,972,000(kWh)	
	送電系統	三成送電線を経て 北原線(66kV)に接続	飯梨川線、菅原連絡 線(66kV)を経て菅原 変電所に接続	菅原連絡線(66kV)を 経て菅原変電所に 接続	比田線、坊床支線 布部ダム線(6.6kV)に 接続	田儀線(6.6kV)に 接続	
	運転開始年月日	昭和29年6月1日 (S28.10.15 一部運転)	昭和43年4月1日 (S42.12.1 一部運転)	昭和43年11月1日	平成3年4月26日	平成23年4月26日	
	制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御	
土木 工 作 物	貯水池	全容量	3,438(千m <sup>3</sup> )	7,100(千m <sup>3</sup> )	7,100(千m <sup>3</sup> )	50,600(千m <sup>3</sup> )	
		有効容量	1,138(千m <sup>3</sup> )	5,000(千m <sup>3</sup> )	5,000(千m <sup>3</sup> )	46,600(千m <sup>3</sup> )	
		利用水深	6.50(m)	16.40(m)	16.40(m)	13.40(m)	
		湛水面積	316,000(m <sup>2</sup> )	386,000(m <sup>2</sup> )	386,000(m <sup>2</sup> )	2,300,000(m <sup>2</sup> )	
	ダム	型式 (ダム名)	アーチ式コンクリートダム (三成ダム)	重力式コンクリートダム (布部ダム)	重力式コンクリートダム (布部ダム)	重力式コンクリートダム (志津見ダム)	
		頂長及び高さ	109.72 42.0(m)	190.00 55.9(m)	—	190.00 55.9(m)	266.00 85.5(m)
	導水路	総延長	2,292.168(m)	3,161.000(m)	3,017.528(m)	—	—
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	圧力隧道(馬蹄型)	無圧隧道、暗渠	—	—
	水鉄 圧管	径	上部1.8m 下部1.2m	上部1.35m 下部0.85m	内径1.35~1.00(m)	内径0.70~0.47(m)	内径1,600~1,200(mm)
		延長	103.430(m)	223.420(m)	100.405(m)	73.095(m)	122.73(m)
主要 機 器	水車	種類	フランス水車	フランス水車	フランス水車	フランス水車	フランス水車
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪複流渦巻型
		最大出力	3,150(kW)	3,150(kW)	1,475(kW)	275(kW)	1,800(kW)
		使用水量	6.00(m <sup>3</sup> /s)	3.70(m <sup>3</sup> /s)	3.70(m <sup>3</sup> /s)	0.80(m <sup>3</sup> /s)	5.00(m <sup>3</sup> /s)
	回転数	600(rpm)	720(rpm)	720(rpm)	900(rpm)	600(rpm)	
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相同期発電機
		型式	縦軸回転界磁型	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転子型	横軸籠型回転子型	横軸回転界磁型
定格出力		3,500(kVA)	3,600(kVA)	1,400(kW)	250(kW)	1,760(kVA)	
変圧器容量		3,500(kVA)	3,500(kVA)	1,600(kVA)	—	—	
電気事業建設費		394,027(千円)	538,841(千円)	307,000(千円)	232,251(千円)	1,371,786(千円)	
建設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	48,404(千円)	21,000(千円)	—	10,166(千円)	620,238(千円)
		治水事業	—	1,327,000(千円)	—	—	140,464,762(千円)
		砂防事業	123,919(千円)	—	—	—	—
	専施 設 用 費	都市 用水	電気事業	—	78,000(千円)	—	—
		都市 用水	治水事業	—	194,000(千円)	—	—
		都市 用水	砂防事業	—	—	—	3,915,000(千円)
主要機器納入会社		(株)東芝	(株)日立製作所	川崎電機製造(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)	

事項	発電所名		八戸川第一発電所		八戸川第二発電所	八戸川第三発電所	勝地発電所	
			1号機	2号機				
発電所位置		江津市桜江町江尾104の2			江津市桜江町八戸1661の7	江津市桜江町八戸1661の9	江津市桜江町八戸1216の4	
要目	使用河川名		江の川水系八戸川及び八戸川支流家古屋川		江の川水系八戸川	江の川水系八戸川	江の川水系八戸川支流家古屋川	
	認可最大出力		5,600(5,300)(kW)	1,500(1,000)(kW)	2,500(kW)	240(kW)	770(kW)	
	常時尖頭出力		4,600(kW)	—	710(kW)	—	—	
	常時出力		570(kW)	—	270(kW)	159(kW)	—	
	発電型式		水路式	水路式	ダム式	ダム式	水路式	
	最大有効落差		65.21(63.38)(m)	68.87(62.21)(m)	30.00(m)	54.50(m)	33.20(m)	
	最大使用水量		10.50(10.00)(m <sup>3</sup> /s)	2.75(2.00)(m <sup>3</sup> /s)	10.00(m <sup>3</sup> /s)	0.60(m <sup>3</sup> /s)	3.00(m <sup>3</sup> /s)	
	年間目標供給電力量計		29,313,000(kWh)	3,684,000(kWh)	8,009,000(kWh)	1,567,000(kWh)	3,219,000(kWh)	
			41,006,000(kWh)					
	送電系統		八戸川送電線を経て桜江矢上線(66kV)に接続	1号機母線(6.6kV)を経て八戸川送電線(66kV)に接続	新八戸川送電線を経て八戸川送電線(66kV)に接続	連絡送電線、第二発電所母線(3.3kV)を経て新八戸川送電線(66kV)に接続	今市線(6.6kV)に接続	
運転開始年月日		昭和33年1月1日 (S51.4.1 出力変更) (S57.4.1 出力変更)	昭和57年4月1日	昭和51年4月1日	平成12年10月1日	平成12年10月1日		
制御方式		遠方監視制御		遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御		
土木工 作物	貯水池	全容量	(流込式)		26,800(千m <sup>3</sup> )	26,800(千m <sup>3</sup> )	(流込式)	
		有効容量	—		23,200(千m <sup>3</sup> )	23,200(千m <sup>3</sup> )	—	
		利用水深	放水池より取水		—	21.60(m)	21.60(m)	—
		湛水面積	—		—	1,282,000(m <sup>2</sup> )	1,282,000(m <sup>2</sup> )	—
	ダム	型式 (ダム名)	重力式コンクリートダム (家古屋川勝地取水堰堤)		重力式コンクリートダム (八戸ダム)	重力式コンクリートダム (八戸ダム)	重力式コンクリートダム (砂防堰堤)	
		頂長及び高さ	44.70 4.4(m)		151.00 72.0(m)	151.00 72.0(m)	44.10 11.6(m)	
	導水路	総亘長	7,538.595(m)		—	—	955.3(m)	
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	無圧隧道(直壁円弧型)	—	—	暗渠(短型) 無圧隧道(馬蹄型)	
	水鉄 圧管	径	上部2.0m 下部1.8m	上部1.2m 下部0.8m	内径2.3(m)	内径500~400(mm)	内径1,200~750(mm)	
		延長	103.302(m)	17.431(m)	50.49(m)	58.842(m)	水圧鉄管44.9(m) 余水管41.3(m)	
主要 機器	水車	種類	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	フランシス水車	
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸二輪単流横口双子型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪複流渦巻型	
		最大出力	6,000(kW)	1,530(kW)	2,650(kW)	261(kW)	820(kW)	
		使用水量	12.00(m <sup>3</sup> /s)	2.75(m <sup>3</sup> /s)	10.00(m <sup>3</sup> /s)	0.60(m <sup>3</sup> /s)	3.00(m <sup>3</sup> /s)	
		回転数	514(rpm)	900(rpm)	360(rpm)	1,200(rpm)	720(rpm)	
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機	交流三相同期発電機	
		型式	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転子型	横軸籠型回転子型	横軸空冷自由通風型	横軸回転界磁出口管通風型	
変圧器容量		7,500(kVA)		3,000(kVA)	—	—		
電気事業建設費		980,120(千円)	355,600(千円)	1,042,170(千円)	281,419(千円)	1,284,445(千円)		
建設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	116,328(千円)	—	123,834(千円)	32,715(千円)	—	
		治水事業	—	—	6,118,020(千円)	70,947(千円)	—	
		砂防事業	95,670(千円)	—	—	—	—	
		都 用 市 水	上水事業	—	—	36,900(千円)	—	—
	下水事業	—	—	114,380(千円)	—	—		
	専 施 設 用 費	電気事業	863,792(千円)	355,600(千円)	918,336(千円)	248,704(千円)	1,284,445(千円)	
都 用 市 水		上水事業	—	—	—	—		
下水事業		—	—	—	—	—		
主要機器納入会社		三菱電機(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)	イーモル工業(株)		

発電所名		三隅川発電所	御部発電所	矢原川発電所	
事項					
発電所位置		浜田市三隅町 下古和1040の2	浜田市三隅町 上古和913の13	益田市美都町 宇津川ハ1409の1	
要目	使用河川名	三隅川水系三隅川	三隅川水系三隅川	三隅川水系矢原川	
	認可最大出力	7,400(kW)	460(kW)	100(kW)	
	常時尖頭出力	7,000(kW)	—	—	
	常時出力	2,000(kW)	180(kW)	70(kW)	
	発電型式	ダム水路式	ダム式	水路式	
	最大有効落差	193.50(m)	29.76(m)	29.79(m)	
	最大使用水量	4.70(m <sup>3</sup> /s)	2.00(m <sup>3</sup> /s)	0.50(m <sup>3</sup> /s)	
	年間目標供給電力量 合計	34,088,000(kWh)	2,154,000(kWh)	493,000(kWh)	
	送電系統	三隅川送電線を経て 東益田三隅線(66kV) に接続	上古和線(6.6kV)に 接続	上古和線(6.6kV)に 接続	
	運転開始年月日	昭和36年4月14日	平成2年4月26日	昭和36年9月16日	
制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御	遠方監視制御		
土木 工作 物	貯水池	全容量	2,526(千m <sup>3</sup> )	16,800(千m <sup>3</sup> )	(流込式)
		有効容量	1,558(千m <sup>3</sup> )	15,500(千m <sup>3</sup> )	—
		利用水深	10.00(m)	9.60(m)	—
		湛水面積	207,000(m <sup>2</sup> )	1,040,000(m <sup>2</sup> )	—
	ダム	型式 (ダム名)	重力式コンクリートダム (木都賀ダム)	重力式コンクリートダム (御部ダム)	重力式コンクリートダム (矢原川取水堰)
		頂長及び高さ	98.00 39.00(m)	177.00 63.0(m)	32.25 5.5(m)
	導水路	総亘長	6,298.422(m)	—	1,063.772(m)
		種類及び構造	圧力隧道(馬蹄型)	—	蓋渠、水路橋
	水鉄 圧管	径	上部1.6m下部1.2m	内径1.20~0.80(m)	上部0.57m下部0.47m
		延長	495.830(m)	95.367(m)	41.737(m)
主要 機器	水車	種類	フランスス水車	フランスス水車	フランスス水車
		型式	縦軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型	横軸単輪単流渦巻型
		最大出力	7,820(kW)	490(kW)	112(kW)
		使用水量	4.70(m <sup>3</sup> /s)	2.00(m <sup>3</sup> /s)	0.50(m <sup>3</sup> /s)
		回転数	900(rpm)	720(rpm)	900(rpm)
	発電機	種類	交流三相同期発電機	交流三相誘導発電機	交流三相誘導発電機
		型式	縦軸回転界磁型	横軸籠型回転回磁型	横軸籠型開放直結型
		定格出力	8,700(kVA)	460(kW)	100(kW)
変圧器容量	8,700(kVA)	—	—		
電気事業建設費		1,153,288(千円)	535,123(千円)	19,260(千円)	
建設 費 内 訳	共同 事業 費	電気事業	278,620(千円)	61,722(千円)	1,041(千円)
		治水事業	—	20,576,400(千円)	—
		砂防事業	69,386(千円)	—	3,706(千円)
		都用水	上水事業	—	—
	下水事業	—	—	—	
	専 施 設 用 費	電気事業	874,668(千円)	473,401(千円)	18,219(千円)
都用水		上水事業	—	—	—
下水事業		—	—	—	
主要機器納入会社		(株)日立製作所	イームル工業(株)	東洋電機(株)・(株)荏原製作所	

## (2) 風力発電所

発電所名		隠岐大峯山風力発電所	江津高野山風力発電所
発電所位置		隠岐郡隠岐の島町 西村字大峯 902	江津市二宮町、敬川町、千田町
要目	認可最大出力	1,800kW (600kW×3基)	20,700kW (2,300kW×9基)
	年間平均風速	7.1m/s (地上 30m)	6.1m/s (地上 80m)
	年間目標送電電力量	4,181,000kWh	34,772,000kWh
	送電系統	五箇線 (6.6kV) に接続	金城江津線 (66kV) に接続
	運転開始年月日	平成16年2月1日	平成21年2月1日
	制御方式	遠方監視制御	遠方監視制御
タワー	種類・構造	テーパーモノポール	モノポール
	タワー高さ	47.55m	76.9m
	タワー直径	下部φ3.3m・上部φ2.2m	下部φ4.30m・上部φ2.96m
	タワー重量	66.0t	194.3t
風車・発電機	風車種別	3枚翼プロペラ型 アップウインド式	水平軸プロペラ型 アップウインド式
	ハブ高さ	50.0m	80.0m
	ナセル重量	24.0t	91.2t
	カットイン風速	2.5m/s	3.0m/s
	定格風速	11.5m/s	13.0m/s
	カットアウト風速	22.0m/s	25.0m/s
	復帰風速	18.0m/s	22.0m/s
	耐風速	60.0m/s	70.0m/s
	発電機種別	交流励磁同期発電機 (超同期セルビウス式)	巻線型誘導発電機
定格出力	600kW (1台あたり)	2,300kW (1台あたり)	
ローターブレード	ローター直径	45.8m	90.0m
	ローター回転数	14~20rpm (可変速運転)	9.8~18.2rpm (可変速運転)
	ブレード材質	GFRP	GFRP
	ブレード重量	1.6t/枚	10.8t/枚
	制御方式	フルスパンピッチ制御方式	フルスパンピッチ制御方式
変圧器容量	700kVA×3台 (風車用)	20,700kVA×1台 (連系用) 2,300kVA×9台 (風車用)	
電気事業建設費	855,301千円	6,288,191千円	
主要機器納入会社	岩谷産業(株)	(株)IHI	

## (3) 太陽光発電所

発電所名		江津浄水場太陽光発電所
発電所位置		島根県江津市松川町上河戸 703
要目	認可最大出力	430kW
	年間目標送電電力量	437,000kWh
	送電系統	渡津線 (6.6kV) に接続
	運転開始年月日	平成26年3月14日
太陽電池モジュール	太陽電池種類	多結晶シリコン
	定格出力	447kW (242W×1,848枚)
	最大出力	447kW
パワーコンディショナー	定格出力	250kW×2台
	定格容量	250kVA×2台
変圧器容量	300kVA×2台	
電気事業建設費	174,640千円	
主要機器納入会社	京セラ(株)	

# 工業用水道事業



## 【工業用水道事業】

### 1. 事業の概要

#### (1) 飯梨川工業用水道事業

県は、昭和34年8月の集中豪雨による水害を契機に、県東部を流れる飯梨川の洪水の調節、下流地域への工業用水及び水道用水の供給、並びに発電所建設による電力供給を目的として、飯梨川に布部ダムを建設する飯梨川総合開発事業を計画し、昭和38年4月に着工、昭和43年3月に完成した。

このダムを水源とする工業用水道事業は、当初計画では既存の工場や中海新産業都市区域の誘致工場へ日量 50,000 m<sup>3</sup>給水する計画であったが、社会経済情勢の変動により昭和42年12月に給水量を工水日量 34,000 m<sup>3</sup>、上水日量 16,000 m<sup>3</sup>（布部系）に変更し、昭和44年6月から給水を行った。その後、水道事業の第一次拡張（山佐系）・第二次拡張（斐伊川）を経て布部系送水施設については上水道目的での使用の見込みがなくなったことから、平成23年7月から送水施設を工業用水道事業に専用化した。

#### (2) 江の川工業用水道事業

県の中央部を流れる江の川水系八戸川に昭和51年3月建設された八戸ダムには、日量 230,000 m<sup>3</sup>（工水日量 203,000 m<sup>3</sup>、上水日量 27,000 m<sup>3</sup>）の都市用水が確保されており、昭和55年度から上水、工水の共同事業として工水日量 50,000 m<sup>3</sup>、上水日量 27,000 m<sup>3</sup>について建設工事に着手した。

工業用水道事業は、江津市浅利町、松川町に位置する江津地域拠点工業団地への進出企業に日量 50,000 m<sup>3</sup>の工業用水を供給しようとするもので、このうち一期計画として日量 15,000 m<sup>3</sup>の基幹施設を完了し、平成8年8月から給水を行っている。

## 2. 給水計画

平成27年度給水計画

### (1) 飯梨川工業用水道事業

(平成27年4月1日現在)

給水開始	昭和44年6月
給水能力	34,000m <sup>3</sup> /日
売水量	20,000m <sup>3</sup> /日(施設利用率58.8%)
料金 平成21年 10月1日改定	次の区分により算定した額に1.08を乗じて得た額 <ul style="list-style-type: none"> <li>基本料金 1 m<sup>3</sup>当たり 17円50銭</li> <li>特定料金 1 m<sup>3</sup>当たり 17円50銭</li> <li>超過使用料金 1 m<sup>3</sup>当たり 35円</li> </ul>
売水先 30企業 (31事業所)	日立金属(株)安来工場 14,500m <sup>3</sup> /日 リョーノファクトリー(株) 1,260m <sup>3</sup> /日 その他28企業 4,240m <sup>3</sup> /日

### (2) 江の川工業用水道事業

給水開始	平成8年8月
給水能力	50,000m <sup>3</sup> /日(うち整備済 15,000m <sup>3</sup> /日)
売水量	8,208m <sup>3</sup> /日(整備済給水能力に対する施設利用率54.7%)
料金 平成24年 3月27日改定 (原水供給追加)	次の区分により算定した額に1.08を乗じて得た額 <ul style="list-style-type: none"> <li>基本料金 1 m<sup>3</sup>当たり <ul style="list-style-type: none"> <li>45円(～400m<sup>3</sup>)</li> <li>20円(401m<sup>3</sup>～)</li> <li>9円(原水)</li> </ul> </li> <li>特定料金 1 m<sup>3</sup>当たり <ul style="list-style-type: none"> <li>45円(基本使用水量が400m<sup>3</sup>以下の場合)</li> <li>20円( " が400m<sup>3</sup>を超える場合)</li> <li>9円(原水)</li> </ul> </li> <li>超過使用料金 1 m<sup>3</sup>当たり <ul style="list-style-type: none"> <li>90円(基本使用水量が400m<sup>3</sup>以下の場合)</li> <li>40円( " が400m<sup>3</sup>を超える場合)</li> <li>18円(原水)</li> </ul> </li> </ul>
売水先 3企業	第一稀元素化学工業(株) 6,600m <sup>3</sup> /日 (同)しまね森林発電 1,200m <sup>3</sup> /日 (株)日本パーカーライジング広島工場 408m <sup>3</sup> /日(H27.4.30開始)

### 3. 営業収支の状況

(単位:千円)

年 度 科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
営業収益	147,781	152,723	155,886
(うち料金収入)	(147,538)	(152,484)	(155,654)
営業外収益	43,090	9,995	83,126
特別利益	0	123,083	1,537,834
計	190,871	285,801	1,776,846
営業費用	200,650	163,998	216,312
営業外費用	44,038	12,409	11,676
特別損失	0	146,812	2,347,891
計	244,688	323,219	2,575,879
当年度純損失	53,817	37,418	799,033
前年度繰越欠損金	606,639	628,411	664,348
当年度未処理欠損金	660,456	665,829	1,463,381

## 4. 施設の概要

### (1) 飯梨川工業用水道事業

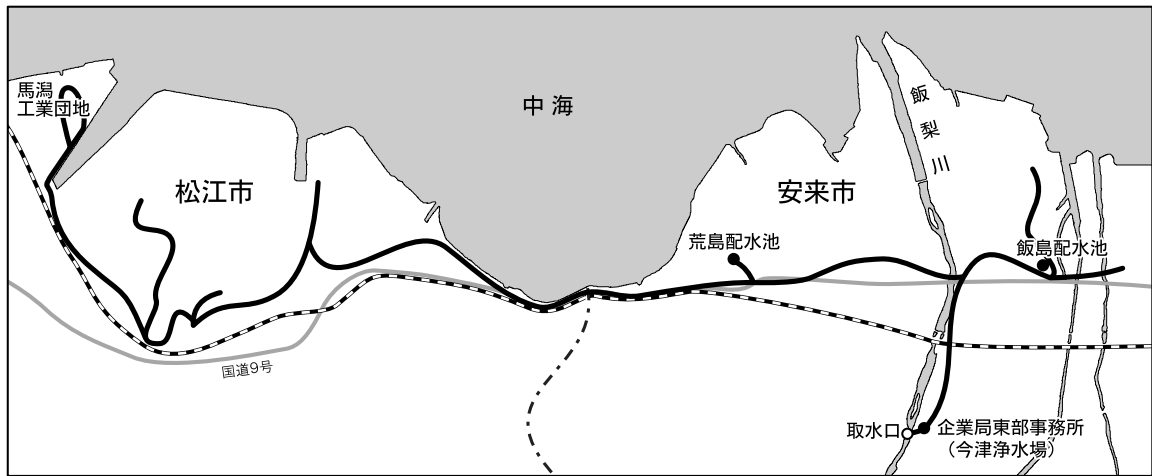
施工期間	昭和38年4月～昭和48年6月		
水源	斐伊川水系 飯梨川（伏流水）		
給水能力	工業用水 34,000m <sup>3</sup>		
貯水設備	布部ダム	有効容量5,000,000m <sup>3</sup> 、長さ190m、高さ55.9m 重力式コンクリートダム	
	逆調整池	有効容量60,000m <sup>3</sup> 、長さ48.0m、高さ2.0m 自動倒伏門扉3門	
		コンクリート分水路 延長1,410.1m	
取水設備	集水埋渠	多孔ヒューム管 埋設深4.0m(建設当初) 径900mm～1,100mm 延長700m	
浄水設備	沈砂池	容量700m <sup>3</sup>	
配水設備	建屋	249 m <sup>2</sup> ポンプ室、電気室	
	ポンプ	口径400mm×125kW×1台、口径350mm×110kW×2台 ディーゼルエンジン180PS×1台(予備)	
	配水池	荒島配水池 容量3,000m <sup>3</sup> 飯島配水池 容量4,700m <sup>3</sup>	
	配水管	ダクタイル鋳鉄管他 径100mm～800mm、延長22,993m	
建設費 (単位:千円)	事業費目	全体事業	工業用水道
		総額	1,317,158
	専用施設費分	950,262	484,840
	共同事業費分	272,000	194,000
	その他	94,896	80,448

(2) 江の川工業用水道事業

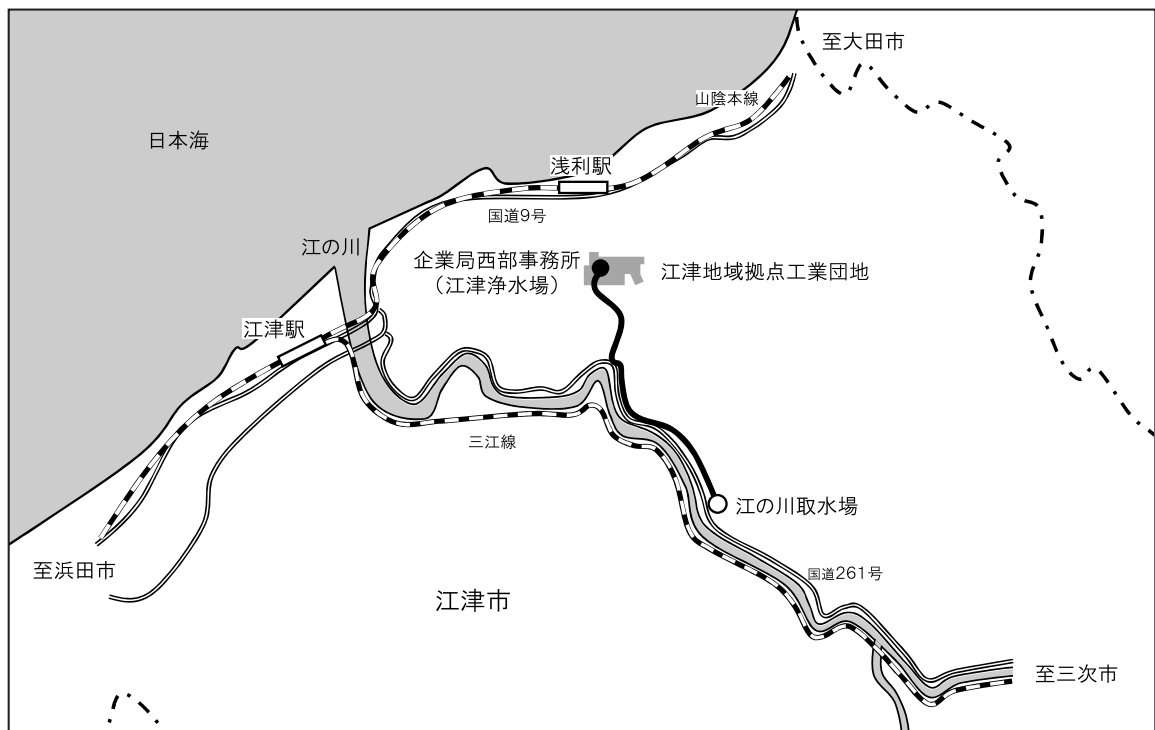
施工期間	昭和55年～未定（一部供用開始H8～）	
水源	江の川水系 八戸川（表流水）	
給水能力	日量 50,000m <sup>3</sup> （整備済 15,000m <sup>3</sup> ）	
貯水設備	八戸ダム	有効容量23,200,000m <sup>3</sup> 、長さ151m、高さ72.0m 重力式コンクリートダム
取水設備	取水塔	高さ38m
	取水ポンプ	立軸斜流ポンプ 口径300mm×210kW×2台
	発電機棟	339m <sup>2</sup> 自家用発電機 500kVA 1台
導水設備	導水管	ダクタイル鋳鉄管 径1,000mm 延長5,575m
浄水設備	着水井	容量174m <sup>3</sup>
	管理棟	1,307m <sup>2</sup> 電気計装設備、薬品注入設備、水質試験室
	発電機棟	162m <sup>2</sup> 自家用発電機 625kVA×1台
	排水処理設備	天日乾燥床 680m <sup>2</sup> ×2池
	急速混和池	1池
	薬品沈殿池	1池
	送水ポンプ井	1池
配水設備	ポンプ	推定末端圧一定給水ユニット(出力3.7kW×2台)×2組
	配水管	ダクタイル鋳鉄管 径100mm～450mm、延長1,517m
建設費	総額	4,846,810 千円

## 5. 概要図

### (1) 飯梨川工業用水道事業



### (2) 江の川工業用水道事業



# 水道事業

# 【水道事業】

## 1. 事業の概要

### (1) 島根県水道用水供給事業

#### ■創設事業(飯梨川水道施設:布部系)

県は、昭和34年8月の集中豪雨による水害を契機に、県東部を流れる飯梨川の洪水調節、下流地域への工業用水及び水道用水の供給、並びに発電所建設による電力供給を目的として、飯梨川に布部ダムを建設する飯梨川総合開発事業を計画し、昭和38年4月に着工、昭和43年3月に完成した。

このダムを水源とする水道用水供給事業は、工業用水道事業の計画変更により日量16,000 m<sup>3</sup>(布部系)として、昭和44年6月から松江市及び旧東出雲町に、昭和48年7月には安来市に給水を開始した。

なお、工業用水と共有していた布部系の送水施設については、第1期拡張事業・第2期拡張事業の給水開始を経て、平成23年7月、工業用水道事業に専用化した。

#### ■第1期拡張事業(飯梨川水道施設:山佐系)

県東部の各市町では、年々上水需要の増加が見込まれていたが、市町単独での水源開発が困難なことから、県は、飯梨川支流山佐川に山佐ダムを建設する山佐川総合開発事業を計画し、昭和48年4月に着工、昭和55年4月に完成した。

このダムを水源として、松江市、安来市、旧東出雲町及び旧八束町を対象に、日量36,000 m<sup>3</sup>の水道用水を供給する第1期拡張事業(山佐系)を昭和48年4月に着工し、昭和55年3月に完成、同年5月から松江市及び旧東出雲町、昭和57年6月には旧八束町、昭和59年7月には安来市に給水を開始した。

平成10年4月からは工業用水と共用していた布部系・日量16,000 m<sup>3</sup>を、山佐系の送水管に振り替えて飯梨川系全量を安来市上坂田町地内の今津浄水場で一括浄水処理する改良工事に着手し、平成12年3月に完成した。

#### ■第2期拡張事業(斐伊川水道施設:尾原系)

県東部の将来にわたる安全かつ安定した給水体制を確保するため、国土交通省が一級河川斐伊川に建設する尾原ダムに参画して平成5年度から行ってきた斐伊川水道建設事業(計画日量35,400 m<sup>3</sup>)が平成22年度に完了し、平成23年4月から松江市(旧東出雲町含む)、出雲市及び雲南市に給水を開始した。

これらの事業により、島根県水道用水供給事業としては県東部の4市1団体(松江市、安来市、出雲市、雲南市、斐川宍道水道企業団)へ給水している。

### (2) 江の川水道用水供給事業

県の中央部を流れる江の川水系八戸川に昭和51年3月に建設された八戸ダムには、日量230,000 m<sup>3</sup>(工水日量203,000 m<sup>3</sup>、上水日量27,000 m<sup>3</sup>)の都市用水が確保されている。このうち工業用水日量50,000 m<sup>3</sup>、上水道用水日量27,000 m<sup>3</sup>について、昭和55年度から上水、工水の共同事業として江津市松川町地内に専用施設の建設工事に着手し、昭和60年3月に完成した。このうち水道用水については、昭和60年4月から江津市及び大田市(旧仁摩町、旧温泉津町含む)に給水を開始した。



## 2. 給水計画

### 平成27年度給水計画

(1) 島根県水道用水供給事業（飯梨川水道施設）

水源 布部ダム, 山佐ダム

給水先	給水能力(m <sup>3</sup> /日)	契約量(m <sup>3</sup> /日)
松江市	40,000	17,805 ~ 25,040
安来市	12,000	9,500 ~ 10,500
2市	52,000	—

(料金算定期間：平成26～28年度)

(2) 島根県水道用水供給事業（斐伊川水道施設）

水源 尾原ダム

給水先	給水能力(m <sup>3</sup> /日)	契約量(m <sup>3</sup> /日)
松江市	30,747	20,050 ~ 22,475
出雲市	3,600	1,601 ~ 2,754
雲南市	1,000	700
斐川宍道水道企業団	53	35 ~ 45
3市1団体	35,400	—

(料金算定期間：平成26～28年度)

(3) 江の川水道事業

水源 八戸ダム

給水先	給水能力(m <sup>3</sup> /日)	契約量(m <sup>3</sup> /日)
江津市	17,500	6,503 ~ 7,521
大田市	9,500	5,102 ~ 6,760
2市	27,000	—

(料金算定期間：平成26～27年度)

### 3. 営業収支の状況

(単位:千円)

年 度 科 目	平成24年度	平成25年度	平成26年度
営業収益	1,697,097	1,697,097	1,666,716
(うち料金収入)	(1,695,869)	(1,695,918)	(1,665,650)
営業外収益	57,658	57,682	395,629
計	1,754,755	1,754,779	2,062,345
営業費用	1,453,248	1,470,475	1,806,382
営業外費用	222,094	214,375	198,819
特別損失	54,908	0	12,206
計	1,730,250	1,684,850	2,017,407
当年度純利益	24,505	69,929	44,938
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
その他未処分利益剰余金変動額	—	—	95,551
当年度未処分利益剰余金	24,505	69,929	140,489

## 4. 施設の概要

### (1) 島根県水道用水供給事業（飯梨川水道施設）

事業	創設（布部）事業		第一期拡張（山佐）事業	
施工期間	昭和38年4月～昭和49年3月		昭和48年4月～昭和55年3月	
取水河川	斐伊川水系 飯梨川（伏流水）		斐伊川水系 山佐川（伏流水）	
浄水場	今津浄水場 安来市上坂田町545-1			
給水能力	日量 16,000m <sup>3</sup>		日量 36,000m <sup>3</sup>	
貯水設備	布部ダム	有効容量5,000,000m <sup>3</sup> 長さ190m、高さ55.9m 重力式コンクリートダム	山佐ダム	有効容量4,450,000m <sup>3</sup> 長さ220m、高さ56m 重力式コンクリートダム
	逆調整池	有効容量60,000m <sup>3</sup> 、自動倒伏門扉3門（長さ48.0m、高さ2.0m） コンクリート分水路 延長1,410.1m		
取水設備	集水埋渠	多孔ヒューム管 埋設深4.0m（建設当初）	多孔ヒューム管 埋設深3.5m（建設当初）	
		径900mm～1,100mm 延長700m	径800mm 延長760m	
	沈砂池	長さ22.0m、幅6.0m、高さ6.76m 容量 700m <sup>3</sup>		
	導水ポンプ	水中斜流ポンプ 300mm×37kW×3台、350mm×45kW×1台		
導水設備	導水管	径600mm 延長141m		
浄水設備	着水井	容量 139m <sup>3</sup>		
	管理棟	547m <sup>2</sup> 操作室、水質試験室、事務室		
	自家発電機棟	85m <sup>2</sup> 高圧自家用発電機 875kVA 1台		
	緩速濾過池	面積 1,316m <sup>2</sup> ×8池、※ 1,283m <sup>2</sup> ×1池		
	滅菌井	容量 51m <sup>3</sup>		
	浄水池	容量 1,176m <sup>3</sup> × 2池		
	次亜塩生成棟	136m <sup>2</sup> 次亜塩生成装置 48kg/日×1台、36kg/日×1台		
	排水処理設備	排水ポンプ 37kW×2台、天日乾燥床 450m <sup>2</sup> ×2池		
送水設備	送水ポンプ室	284m <sup>2</sup> 地上1階、地下1階 鉄筋コンクリート造		
	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ 口径300mm×132kW×3台 ※口径300mm×132kW×1台		
	調整池	荒島調整池 容量5,000m <sup>3</sup>		
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径700mm 延長14,242m		
建設費 (単位:千円)	事業費目	全体事業	上水道	第一期拡張
	総額	2,096,605	1,337,317	8,767,912
	専用施設費分	950,262	465,422	5,201,421
	共同事業費分	272,000	78,000	2,466,112
	その他	94,896	14,448	1,100,379
	第二期拡張事業	779,447	779,447	

※印は第二期拡張事業（平成10年4月～平成12年3月施工）

## (斐伊川水道施設)

事業	第二期拡張（尾原）事業	
施工期間	平成5年4月～平成23年3月	
取水河川	斐伊川水系 斐伊川（伏流水）	
浄水場	三代浄水場 雲南市加茂町三代96-2	
給水能力	日量 35,400 m <sup>3</sup>	
貯水設備	尾原ダム	有効貯水容量 54,200,000 m <sup>3</sup> 長さ443m、高さ90m 重力式コンクリートダム
取水設備	集水埋管	径1,000mm 延長374m
	導水渠	径1,500mm 延長140m
	取水ポンプ棟	面積158 m <sup>2</sup>
	取水ポンプ	水中モータポンプ口径250mm×37kW×3台
導水設備	導水管	径800mm 延長301m
浄水設備	着水井	容量54 m <sup>3</sup> ×2池
	管理棟	面積337 m <sup>2</sup> 水質試験室、監視室
	浄水池棟	面積1,189 m <sup>2</sup> 自家発電室（自家用発電機1000kVA×1台） 次亜室（塩素滅菌設備）
	緩速濾過池	面積850 m <sup>2</sup> ×10池（計画）：6池（完成）
	塩素混和池	容量70 m <sup>3</sup> ×2池
	浄水池	容量1,350 m <sup>3</sup> ×2池
	その他施設	排水池1池、汚泥池1池、粗ろ過池1池
送水設備	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ口径250mm×220kW×3台
	調整池	第1調整池 1,600 m <sup>3</sup> ×2池 第2調整池 2,600 m <sup>3</sup> （中間隔壁二槽式）
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径150～800mm 延長108,513m
建設費 （単位：千円）	総額	36,795,597
	専用施設費分	26,509,972（工事費、測量試験費 他）
	共同事業費分	6,382,610（ダム負担金）
	その他	3,903,015（建設利息、事務費 他）

## (2) 江の川水道用水供給事業

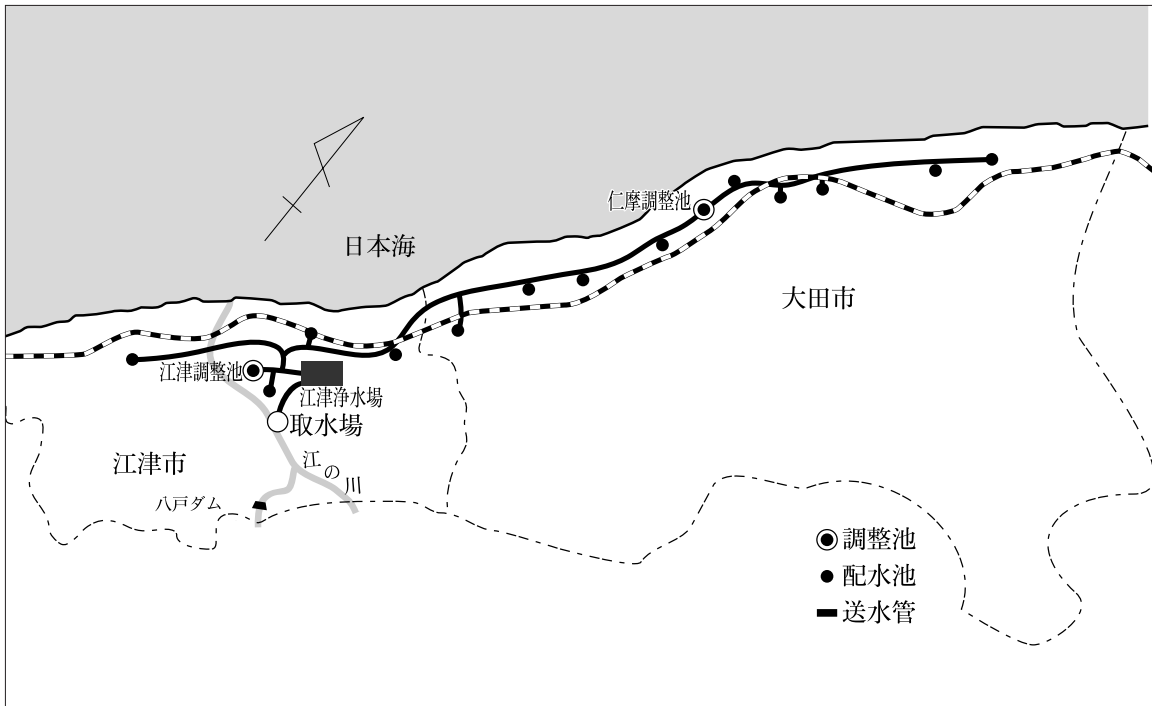
施工期間	昭和55年4月～平成5年3月	
取水河川	江の川水系 八戸川（表流水）	
浄水場	江津浄水場 江津市松川町上河戸703	
給水能力	日量 27,000m <sup>3</sup>	
貯水設備	八戸ダム	有効容量23,200,000m <sup>3</sup> 長さ151m、高さ72m 重力式コンクリートダム
取水設備	取水塔	高さ38m
	取水ポンプ	立軸斜流ポンプ口径300mm×210kW×3台
	発電機棟	面積339m <sup>2</sup> 自家用発電機500kVA×1台
導水設備	導水管	ダクタイル鋳鉄管 径1,000mm 延長5,575m
浄水設備	着水井	容量174m <sup>3</sup>
	管理棟	1,307m <sup>2</sup> 電気計装設備、薬品注入設備、水質試験室
	発電機棟	162m <sup>2</sup> 自家用発電機625kVA×1台
	薬品沈殿池	容量2,460m <sup>3</sup> ×4池
	緩速濾過池	面積1,120m <sup>2</sup> ×8池
	塩素混和池	容量40m <sup>3</sup>
	浄水池	容量640m <sup>3</sup> ×2池
	次亜塩素素生成棟	144m <sup>2</sup> 次亜塩素酸ソーダ装置60kg/日×2台
	排水処理設備	天日乾燥床 680m <sup>2</sup> ×2池
送水設備	送水ポンプ	横軸両吸込渦巻ポンプ口径300mm×132kW×3台
	調整池	江津調整池 3,000m <sup>3</sup> 仁摩調整池 1,000m <sup>3</sup>
	送水管	ダクタイル鋳鉄管 径300～700mm 延長50,265m
建設費	総額	9,437,616千円

## 5. 概要図

### (1) 島根県水道用水供給事業



### (2) 江の川水道用水供給事業





# 宅地造成事業



## 【宅地造成事業】

### 1. 事業の概要

宅地造成事業は、昭和44年に、住宅及び商業団地の造成を始まりとし、道分山開発事業（浜田市）、昭和59年に、笠柄地区宅地造成事業（浜田市）を行い事業精算している。

その後、地域開発の拠点となる工業団地を造成し、平成9年に旭拠点工業団地を造成し、平成18年に法務省へ売却している。

現在、松江市の江島工業団地（34.6ha）、江津市の江津地域拠点工業団地（73.8ha）を販売している。

### 2. 営業収支の状況

（単位：千円）

科 目 \ 年 度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
営業収益	38,275	20,921	429,347
営業外収益	597	1,613	3,169
計	38,872	22,534	432,516
営業費用	37,648	22,507	430,632
営業外費用	0	87	73
特別損失	0	0	3,321
計	37,648	22,594	434,026
当年度純利益 （△当年度純損失）	1,224	△60	△1,510
前年度繰越利益剰余金	0	0	0
当年度未処分利益剰余金 （△当年度未処理欠損金）	1,224	△60	△1,510

### 3. 江島工業団地造成事業

江島工業団地は、宍道湖・中海圏域の中央部に位置し、自然環境と交通に恵まれており、工業用地の開発と併せ、港湾施設、水中貯木場等の整備を図り臨海工業地区を形成している。

#### (1) 事業の概要

江島地区に製造業及び流通関連等幅広い業種で形成された工業団地を造成している。

総面積は34.6ha（うち工業用地21.6ha）で、昭和48年度から工事に着手、昭和57年度に一部完成し、以後企業の進出に併せて造成工事を行っている。

平成26年4月1日現在、分譲予定面積216,411㎡に対して18社に分譲し、分譲面積200,923㎡、分譲率92.8%となっている。

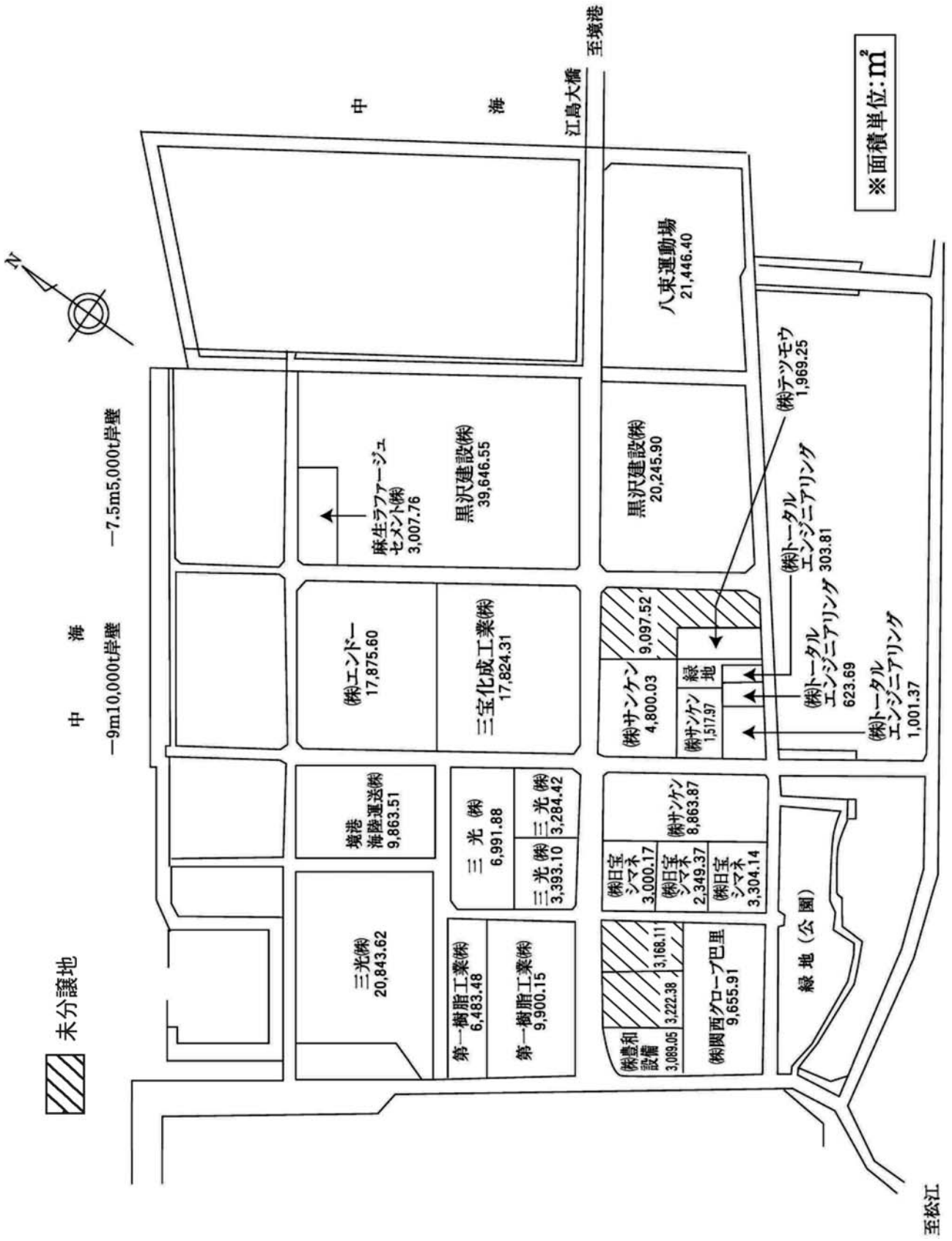
現在、1㎡当たり14,300円で分譲している。

#### (2) 土地利用状況

(単位：㎡)

区 分	面 積	内 訳	備 考
工 業 用 地	216,411		
緑 地 環 境 施 設	40,588	緑 地 8,112 公 園 32,476	
道 路 用 地	65,568		
水 路 用 地	4,756		
そ の 他	18,655		
計	345,978		

(3) 団地内配置図



## 4. 江津地域拠点工業団地造成事業

江津地域拠点工業団地は、八戸ダムに貯留されている豊富な工業用水を活用し、用水型企業中心の誘致を図り、石央地域の拠点的な工業団地の形成を目指している。

### (1) 事業の概要

江の川工業用水50,000m<sup>3</sup>/日を利用した用水型関連業種の立地を想定し、内陸型の工業団地を造成している。

総面積は73.8ha（うち工業用地は47.3ha）、昭和55年度から造成に着手し、平成27年4月1日現在の造成済工場用地は21.2haで、企業進出にあわせて造成工事を行うこととしている。

平成27年4月1日現在、10社に分譲し、分譲面積170,531m<sup>2</sup>、工場用地に対する分譲率36.0%、造成済工場用地に対する分譲率80.4%となっている。

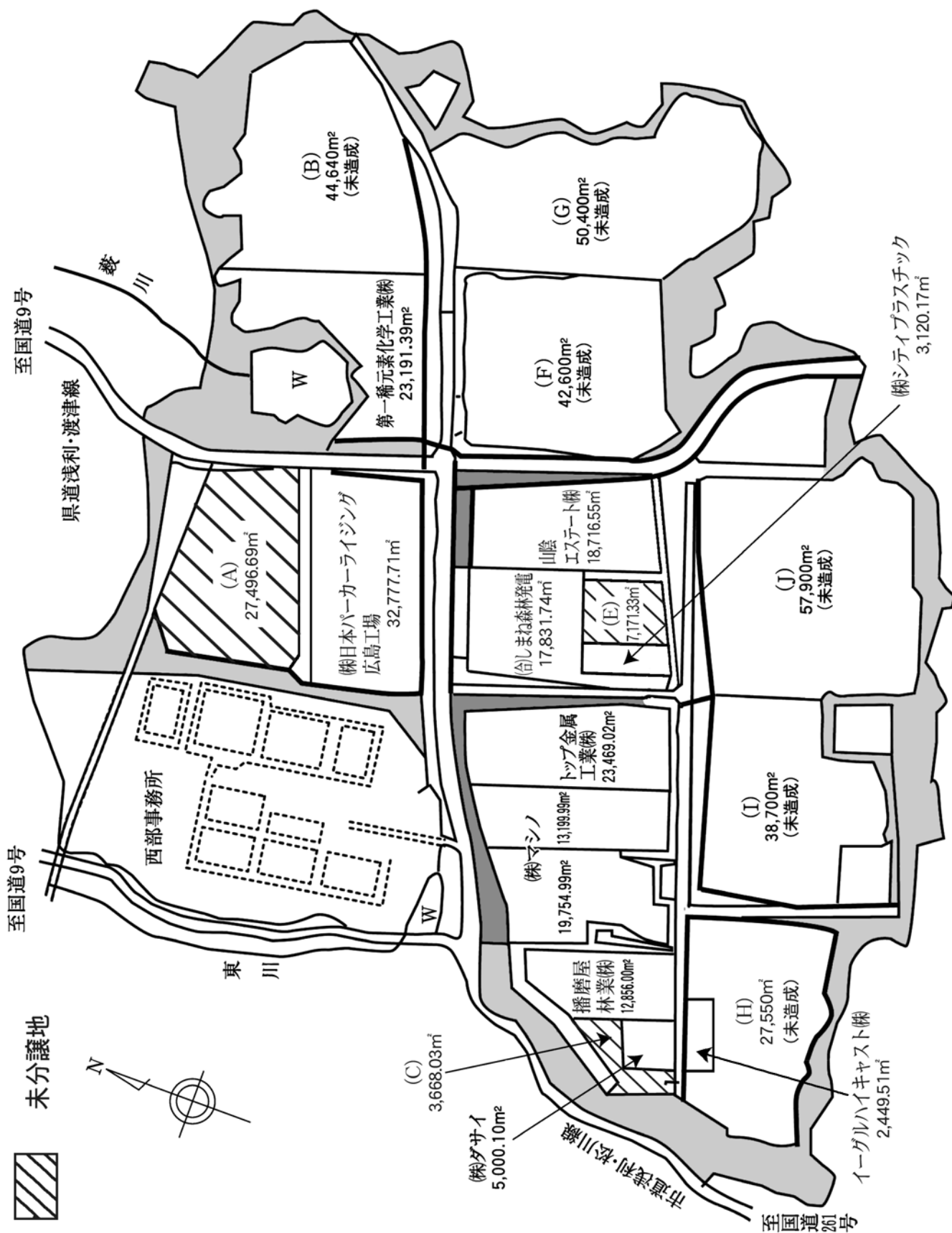
現在、1m<sup>2</sup>当たり12,000円で分譲している。

### (2) 土地利用計画

(単位：m<sup>2</sup>)

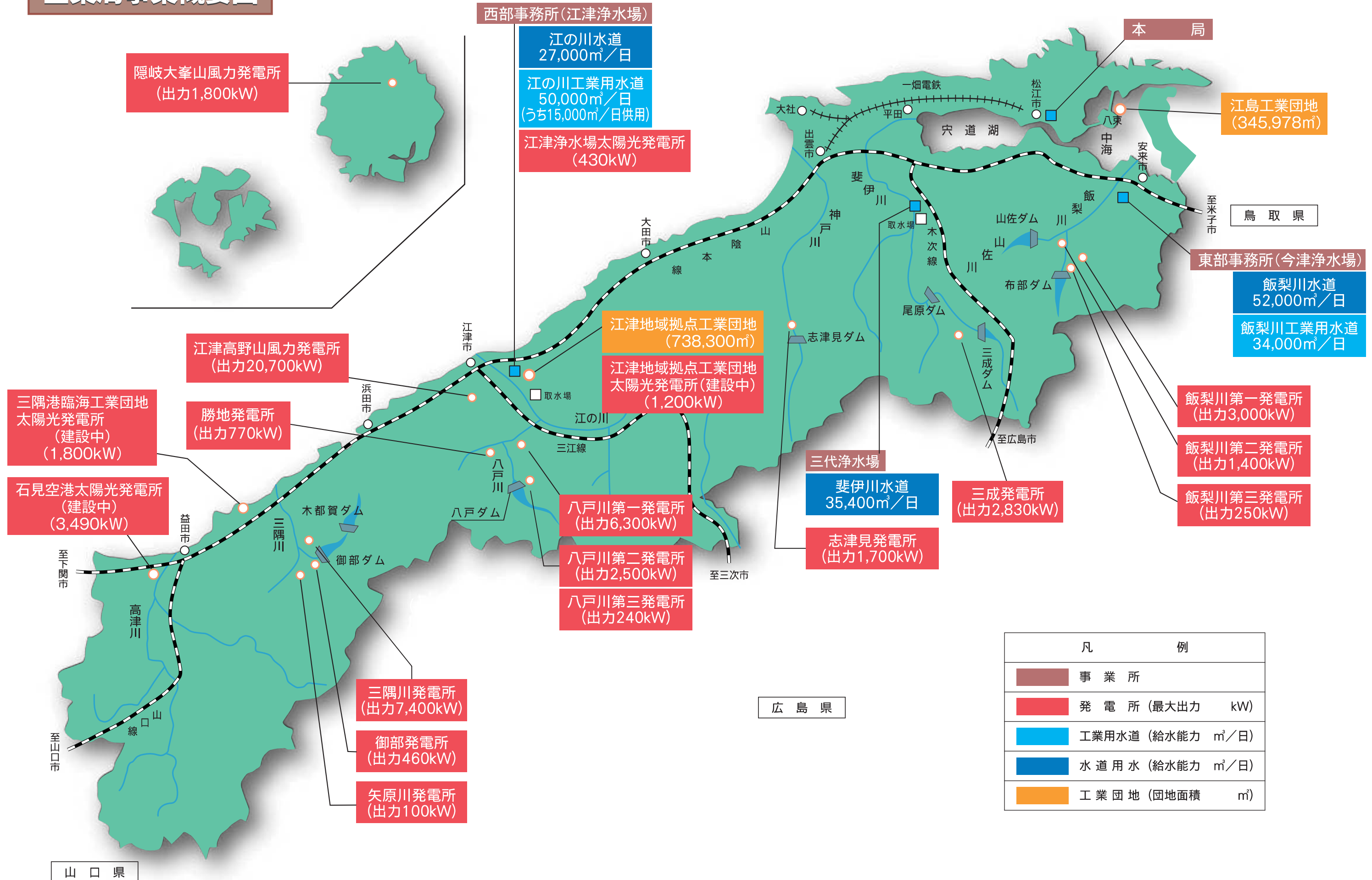
区 分	面 積	内 訳	備 考
工 業 用 地	473,506		うち造成済工場用地 211,986
緑地環境施設	184,347	法面周辺緑地 161,547 環 境 施 設 22,800	
道 路 ・ 水 路	80,447		
計	738,300		

(3) 団地内配置図





# 企業局事業概要図



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#8B4513;"></span>	事業所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#D62728;"></span>	発電所 (最大出力 kW)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#1E90FF;"></span>	工業用水道 (給水能力 m <sup>3</sup> /日)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#0070C0;"></span>	水道用水 (給水能力 m <sup>3</sup> /日)
<span style="display:inline-block; width:15px; height:10px; background-color:#FFA500;"></span>	工業団地 (団地面積 m <sup>2</sup> )

平成27年度 **企業局の概要**

発行・編集 島根県企業局

〒690-8501 松江市殿町8

T E L 0852-22-5673

F A X 0852-22-5679

<http://www.pref.shimane.lg.jp/kigyoo/>

平成27年5月発行